



## なおちゃんの坊ちゃんかぼちゃ



就農7年目のなおちゃんは、おかげさま農場の直売所「かざぐるま」で働く看板娘の1人でもあります。



ピカピカな姿が好きななおちゃんは、検品もかねて1つ1つ磨き上げてから出荷します。

※なおちゃんの坊ちゃんかぼちゃは、量が限られていますので、注文量次第で8月末を待たず終了となります。お早めにご注文下さい。

おかげさま農場は、「食は命」をテーマにしています。化学合成農薬や化学肥料を使わないことを基本としています。

### 【産地情報】

◎枝豆は終了しました。また、空心菜の再出荷は8月13日(土)を予定しています。

◎ナスの収量が戻りつつあります。ミニトマトはお盆明けぐらいから安定する見込みです。

★大好きな坊ちゃんかぼちゃを皆さんにおかげさま農場の元気印のなおちゃんは、7年前まではOLでした。派遣で働いている時に「正社員にならないか？」と言われた時に「私はここでずっと働くの？」と自問自答したのがきっかけで、農家の道を歩み始めました。

小さい時から畑や野菜は身近なもので、通っていた保育園には畑があって種まきや間引きをしたり、お散歩の通りにある農家さんのところに入出入りをして軒先で食べた枝豆やトウモロコシの味は今でも忘れられないと言います。「私が食い意地が張っているのはその頃の影響ですね(笑)」小学校も堆肥場や畑があるようなところでまた、ご両親も無農薬野菜を食卓の中心にしていたそうです。そんな環境で育ったためか「いつかは自分の食べ物を作るんだ」という思いを持っていたそうです。そして7年前に出会った高柳場長に一目惚れをし、畑と共に暮らすようになりました。

そんななおちゃんが就農当時から作っているのが大好きな坊ちゃんかぼちゃです。「あの小ささの中にかぼちゃらしさも有り、磨けばピカピカ光るし可愛いんです。味もギュッと詰まっていて、甘さも詰まっているから大好きなんです」かぼちゃは日焼けをすると傷みやよくなるので、畝間にわざと麦を生やして日陰を作って育ててきました。

なおちゃんの「大好き」という気持ちをたくさん受けて育った坊ちゃんかぼちゃは、ひと味もふた味も違いますよ。